

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 市総合計画後期計画の概要
- 6 市官民協働型政策提言組織からの第2次提言
- 7 「春の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」 ～荣誉に喜びの声～
- 8 在宅介護支援センターの事業紹介
- 9 オープンガーデンへ行こう
地域づくりに宝くじ助成
- 10 0.4（オーシュウ）%支援事業に投票を
- 11 チャレンジデー 2012
- 12 奥州の春祭りグラフ
- 14 結 - ゆい - ～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～
- 15 市の出来事から
- 16 まちの話題
- 18 つながれ 広がれ NPO の輪
- 20 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 21 消費生活相談
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 22 キラリ人輝く
夢トーク
- 23 クラブ紹介
ぼんたのつぶやき
- 24 くらしの情報
- 28 奥州遺産

〈今月の表紙〉



満開の桜のもと、日高火防祭が4月28日と29日、同実行委員会の主催により盛大に開催されました。

昨年は震災の影響で、はやし屋台の運行は2年ぶり。纏振りや神輿の練り歩き、42歳厄年連「亥仁会」と25歳厄年連「颯龍幻」の演舞が祭りを盛り上げました。

観客数は主催者発表で9万7000人。天候にも恵まれ、例年以上のにぎわいとなりました。



会話を楽しみながら陶芸を教える史郎さん

情熱の奥州人

20

使う楽しさを求め 作り手の個性を生かす陶芸

南洞 史郎さん（57歳）

|| 衣川区陣場下 ||



なんどう・しろう◎昭和30年衣川区岩の上生まれ。陶芸家。阿都麻焼を開窯。現住所に窯を開き陶芸教室を主催。家族は、妻と長男、次男、長女

衣川荘の近くで、日用雑器を中心とした陶器を生み出す阿都麻焼。窯元の南洞史郎さんは、誰にも邪魔されることなく一人で打ち込める仕事をしたいと、陶芸の世界に踏み出した。

横浜の工芸専門学校卒業後、絵柄の美しさで知られる石川県九谷焼の窯元で修行。オブジェから雑器まで、さまざまな技術を学んだ。5年間の修行を積み故郷衣川へUターン。27歳の若さで念願の窯を開いた。

地元の産業まつりのほか、展示会や陶器市など多方面に出品。「みやぎ村田町・蔵の陶器市」には、6年連続で参加している。昨年は、市の敬老会で米寿の記念品にも採用された。

源平盛衰記に登場する美しい女性、袈裟御前の幼名・阿都麻。「衣川にゆかりがあり、その響きにひかれ名づけた」と命名の由来を明かす。

温厚で誠実な史郎さん。主催する陶芸教室では20人が学ぶ。「陶芸で多くの人に出会い、この世界を志したきっかけは、全て裏目となった」と穏やかな笑みを見せる。教室では、手びねりの陶芸を好んで指導。ろくろと違い、形状が微妙に変わるのが特徴だ。その特徴を生かし、作り手の個性を引き出す指導を心掛ける。

使い勝手だけでなく、面白みのある陶器作りが信条の史郎さん。笑顔を決やまず、今日も生徒と共に新たな陶芸の可能性を探し続ける。